

私は1日の大半を  
パチンコをする親の隣で...

私の母がギャンブル依存症で、私はパチンコ店で育ちました。母は始終お金の問題を起こし、父親も無関心で、機能不全の家庭でした。大人になって依存症の自助グループに出会い、ギャンブル依存症は回復可能な病であると知りました。どんな子どもたちにも私と同じような苦しみを味あわせたくありません。(Kさん)

大学に通わず  
パチンコ店に入りびたり

学生生活を始めたころ、遊び感覚で行ったパチンコにはまり、借金をし、それをパチンコで取り返そうとする生活になりました。とうとう大学も除籍され、すべてのことから逃れたいと失踪しました。親に見つかり病院に連れていかれ、ギャンブル依存症と診断され入院しました。今は被害者の会、自助グループで依存症からの回復をめざしています。

(Tさん・20代)

ギャンブル依存症536万人。

※国民の20人に1人がギャンブル依存症

その家族も人生を壊されている。

# 子どもも泣かす

# カジノはいらん

ギャンブル依存症患者の周りで苦しむ家族はその何倍にも上ります。特に子どもたちに与える影響はひどく、悲惨な家庭環境でまともな教育を受けることすらできないケースが多々あります。依存症を生み出さないための最も有効な対策は、ギャンブル場をつくらないことです。

世界に誇る大阪のええとこ

海外の観光客の  
目的ベスト8

- 1 日本食を食べる
- 2 ショッピング
- 3 自然・景観地
- 4 繁華街
- 5 温泉
- 6 旅館宿泊
- 7 日本酒
- 8 伝統文化

(2015年  
観光庁調べ)



観光客の目的は  
カジノやないよ

カジノの利益で  
ギャンブル依存症  
対策します

そんな  
アホな



“人の不幸が  
儲けのタネ”の  
カジノに自治体が  
手を貸すのは  
間違いです

